

第41回全国大会特別決議

憲法9条を守るために力を合わせよう

2017年12月10日 採択

「祖父の戦争体験を聞いて、絶対に繰り返したくないと思った」「戦争しないと決めた9条は世界にも誇れると思う」——私たち日本の青年は、多大な犠牲を出した侵略戦争と植民地支配を反省し、二度と加害者にも被害者にもならないと決めた日本国憲法の下で育ちました。戦争体験・被爆体験の悲惨さを直接聞き、平和でこそ個人の尊厳は守られること、武力では平和は築けないことを学びました。私たちは、次の世代にも平和をつなごうと決意しました。

国際社会では、戦争の違法化が進み、戦争を未然に防ぐ外交努力がされています。一部の大国が支配する時代は終わり、国の大小ではなく道理に立った主張と市民の力が本流になり、核兵器禁止条約が作られました。テロにも核兵器開発にも「軍事ではない解決方法を」と努力しています。

戦後、自民党政権はアメリカの戦争に日本も参加できる体制をつくろうとしてきました。それを押しとどめて戦後70年以上、戦争でひとりも殺さず、殺されなかったのは憲法9条の存在と平和を求める国民の世論と運動があったからです。

安倍政権は青年・国民の願いにも世界の流れにも逆行し続けています。アメリカの戦争に日本も加担できるようにする集団的自衛権の行使を容認し、秘密保護法、戦争法（安保法制）、共謀罪法と日本の平和も民主主義も壊す法案を国民多数の反対を押し切り強行してきました。被爆国でありながら核兵器禁止条約を無視する態度に被爆者をはじめ世界の国々から失望の声が寄せられています。

そして、戦争する国づくりの本命として、憲法9条の改悪を行おうとしています。9条に自衛隊が書き加えられれば「軍隊は持たない」という9条2項が無効化されてしまいます。海外での武力行使が無制限になり、9条そのものが壊されてしまいます。10月の総選挙の結果、改憲勢力が国会の衆・参両議院で3分の2を占めることになりました。来年6月には、改憲案の発議を狙っています。改憲の動きが急速に強まってい

ます。絶対に許せません。

この国の未来を決めるのは、主権者である私たち一人ひとりです。たたかいの一致点は「安倍政権による 9 条改憲には反対」です。とりくみの中心は「安倍 9 条改憲 NO！ 憲法を生かす全国統一署名」です。

日本国憲法には、戦前、命をかけて平和のためにたたかった青年の歴史が刻まれています。私たち民青同盟の先輩もその一員です。民青同盟は憲法 9 条を守るたたかいの先頭に立つ決意があります。

私たちは、日本中の青年に、憲法 9 条を守るために力を合わせることを呼びかけます。

以 上